

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	966.66	2022/8/15
High	966.66	2022/8/15
Low	888.80	2022/8/19
Close	899.45	2022/8/19

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4150.00	2022/8/15
High	4150.00	2022/8/15
Low	3919.00	2022/8/19
Close	3959.00	2022/8/19

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2230.00	2022/8/15
High	2236.00	2022/8/15
Low	2105.00	2022/8/19
Close	2128.00	2022/8/19

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	9574.00	2022/8/15
High	9580.00	2022/8/15
Low	9091.00	2022/8/16
Close	9369.00	2022/8/19



ニュースエクスプレス

8月15日付けの「ヘレウス貴金属レポート」

プラチナ

今年の南アフリカのプラチナ生産は複数の問題に直面している。インバラ・プラチナムは、南アフリカでは安全上の問題による長期間の操業停止、断続的なストライキ・停電、さらにインバラ・カナダの生産もサプライチェーン問題の長期化で影響が生じている。今年6月末までの6E（プラチナ、パラジウム、ロジウム、イリジウム、ルテニウム、ゴールド）の精錬生産高は前期の101.7トンから5.6%減って、96.1トンとなった（プラチナは約43.5トン）。インバラ・カナダを含む精錬生産高は、精鉱の減産とインバラ・ルステンバーグの溶鉱炉の保守作業が長引いたことに影響を受けた。6Eの精錬メタル販売は精錬在庫の在庫処理のため98.0トンとなった。溶鉱炉の保守作業が終了し、賃金交渉も合意に至ったことで、今年後半は生産が安定すると思われる。エスコムの状況も改善され、現在、計画停電は行われていないが、多くの発電所で保守点検作業が必要とされているため再び行われる可能性がある。今年の南アフリカのプラチナ生産は2019年の生産に近い136.8トンと予測される。

ドルが弱まっていることでプラチナ価格の上昇を招いており、僅か1ヶ月前は1ドル17ランドだったのが、今は1ドル16ランドとなってプラチナ価格を下支えしている。ランドがこのまま上がれば、プラチナ価格は再び1000ドル/オンスとなりうるだろう。

パラジウム

パラジウム生産には米国内の問題が影響を与えている。シバニエ・スティルウォーターは、操業上の問題、新型コロナウイルス感染症、人事問題、浸水問題などを受けて鉱山生産の修正計画を発表した。今年の2E（パラジウム・プラチナ）の生産目標は、当初17.1トン～18.0トンだったが、13.8トン～14.3トンに下方修正（パラジウムは当初13.2トン～13.9トンから10.6トン～11.0トンに修正）された。2021年のパラジウム生産は14.6トン（2Eは18.6トン）だったことから、当初の生産目標そのものが僅かに低いレベルにであったが、鉱山生産の60%を占めるスティルウォーター鉱山の操業が浸水事故を受けて7週間停止されたことで、2Eの生産は1.9トンの減産（パラジウムは1.4トン）となった。East Boulderからの2Eは品位の低下と操業上の問題で約0.6トンの減産が予測されている。スティルウォーターイースト(Blitz)の2Eの増産計画には遅れが出、1.2トンとなっているが、2022年終わりには例年通りの生産レベルを達成できるだろう。スティルウォーター鉱山は米国でのPGM生産の大半を占めている。

長期的には、米国内のパラジウム供給の伸びは鈍化している。シバニエ・スティルウォーターの計画は2027年までに2Eは21.8トン（パラジウムは16.8トン）というものだが、これは当初よりも3.1トン少ない。

米国の減産によって、今年のパラジウム市場は、需給がより均衡を保つ状態に近づくが、自動車生産が現在もサプライチェーン問題に影響されていると同時に、不況に直面していることから、今年のパラジウム市場は余剰供給となる可能性もあり、2300ドル/オンスという価格は高すぎるという見方もある。

https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20220815.pdf#msdynttrid=5YSAP8_02T1YeCNGnjb3W1dDCbIC6butgKJolBmEJA

Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

- プラチナベースの固体高分子膜水電解装置で世界の炭素排出削減目標の1割以上2030年までに達成可能。詳しくはプラチナ豆知識「炭素排出削減への隠れた貢献」（2022年8月18日）をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2022/08/18>



(@wpicjapan)

免責事項：本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。